

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般 - 03

学校名・団体名	江別市教育研究会
HPアドレス	なし
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	情報モラル教育の推進について
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>スマートフォン等の急速な普及に伴い、情報モラルに関する対応も日々新しくなっており、これらの利便性と影響を理解し、正しい付き合い方を学ぶ必要がある。</p> <p>ネット依存の問題や子どもがネットに関わる時間と学力の関係性について、児童・生徒及び保護者、教職員が情報を共有し、子ども達をメディアからいたずらに遠ざけるのではなく、上手に付き合う力を身につける情報モラル教育を推進していく。</p>	

【活動内容・研究の経過】

子ども達自身が情報機器の危険性、問題性を理解し、望ましい使い方を学んでいくために、市内全中学校にて情報モラル教育として講演を行う。合わせて、教職員・保護者等に対する研修会を行い、教職員と保護者の連携によるネット対応に取り組んでいく。

1 情報モラルに関する講演会の実施

1) 中学生向け講演会・・・市内全中学校にて授業として、情報モラル講演を行った。

①講師 NPO法人子どもとメディア 専務理事 古野陽一氏

②対象者 市内8校の中学生、保護者、地域関係者

③日程 10月17日(月) 江陽中学校、野幌中学校

18日(火) 大麻中学校、大麻東中学校、江別第一中学校

19日(水) 中央中学校、江別第二中学校、江別第三中学校

④内容

中学校の道徳等の時間を活用し、授業として情報モラルに関する講演会を行い、生徒・教職員等延べ3,021名が受講した。

講演会の前後に、ネットとの関わりとその問題性、情報モラルについて考える時間を設けた。

10月19日は全市一斉学校公開日であり、地域の方々の参加も多かった。

2) 教職員・PTA向け研修会

①講師 NPO法人子どもとメディア 専務理事 古野陽一氏

②対象者 一般(教職員、保護者、青少年育成関係者等)

③日程 10月17日(月) 18時半から 大麻東中学校体育館

18日(火) 18時から 中央公民館コミセンホール

19日(水) 18時から 野幌公民館ホール

④内容

市内の3つの公民館を会場に、江別教育研究会・江別市PTA連合会・江別市子ども会連絡協議会の3団体の共催による保護者や教職員向けの研修会を行い、延べ261名の参加があった。中学生向け講演会とは内容を変え、子ども達をとりまくネット社会の現状、それらの問題と対策、スマホ時代の情報モラル、ネットから子どもを守るための家庭における取組等を研修内容として学んだ。

※研修会終了後、江別市PTA連合会において、アンケートを行った。

アンケート結果は市内全校にて共有しており、今後の取組みにつなげる予定である。

2 情報モラルに関するリーフレットの作成・配布 小学生(4~6年生)向け

ネットに関わる問題は年々低年齢化しており、メディアとの付き合い方を児童・生徒に伝えていくことは喫緊の課題であることから、情報モラルに関する啓発リーフレットを作成し、小学生(4~6年生)に配布し、啓発活動を行った。

【本活動の成果】

- ・市内中学校全校で中学生向けの情報モラル講演会を行ったことで、中学生のみならず、各校教職員、保護者及び地域の方々へ、情報モラル教育の必要性を問う機会となった。
- ・同日に大人向けの講演会を実施したことで、家庭における話し合いを促す機会となった。
- ・参加者アンケートでは、講演内容に対し、8割以上が良かったと評価した。同アンケートからは、情報機器絡みの犯罪等も問題ではあるが、生活習慣の乱れや学力低下等との関連性について、教職員や保護者の興味・関心が高いことが伺えた。
- ・今回の取組みにより、子ども達や保護者に対し、時間の有効な使い方や望ましい生活習慣の確立について問題提起できた、また、教職員と保護者も同時に情報モラルについて学んだことで、今後の連携した取組みが可能となる。
- ・江別教育研究会・江別市PTA連合会・江別市子ども会連絡協議会の3団体の共催により、活動を行ったことで、学校・家庭・地域の連携による情報モラルの向上につながっている。